

生徒の実態

- ・素直で明るい。
- ・他律傾向が強い。
- ・けじめがつけにくい。

学校教育目標
すべてのことに全力で取り組む生徒の育成

- 日本国憲法
教育関係諸法規
- ・教育基本法
 - ・学校教育法
 - ・学習指導要領
 - ・教育委員会の方針目標等

- すこやかネットまつざき推進協議会
「子育て10箇条」
1. 物事の善悪を教える
 2. 社会のルールを守らせる
 3. 自分からあいさつをさせる
 4. 物を大切にすることを育てる
 5. 家族に感謝する心を持たせる
 6. 悪いことをしたときには、自分からあやまらせる
 7. うそをつくことは、悪いことだと教える
 8. 約束したことは、必ず実行させる
 9. あきらめずに やりとげる心を育てる
 10. 夢や誇りを持たせる。

- 「学校教育目標」達成に向けての実践
- 1 「一生懸命勉強する」生徒の育成
 - 2 「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成
 - 3 開かれた・信頼される学校づくり

組織

人権・道徳教育推進委員会

校長 教頭
人権担当（3名）
道徳担当（3名）

道徳教育目標

思いやりと判断力を持ち、正しく行動できる生徒を育てる。

〈教師の姿勢〉

行動目標の四本柱を率先して垂範する。

- 重点目標**
- (1) すべての生徒の基礎的・基本的な学力の向上に努める。
 - (2) 愛校自治の精神を培い、大きな声で校歌を歌い、しっかりと行進できる生徒を育成する。
 - (3) 生徒にとって魅力ある授業作りを進める。
 - (4) 道徳教育を更に推進し、心豊かな生徒を育成する。
- 【行動目標】
- 大きな声で挨拶をしよう ○時間を守ろう ○服装を正そう ○学校をきれいにしよう

学年重点目標		
1 年	2 年	3 年
中学生としての自覚を持ち、しっかり学習・部活に取り組み、友だちの輪を広げる生徒の育成。	中堅学年としての自覚と責任を持ち、しっかり学習・行事に取り組み、友だちとの絆を深めようとする生徒の育成。	松崎中の代表としての誇りを持ち、義務教育最後の学年にふさわしい軌跡を仲間と共に創りあげようとする生徒の育成。
<p>〈努力目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 挨拶ができ、話を聞くことができる、心豊かな人を育成する。 2. ルール、約束を守るなどより良いマナーを身につけさせる。 3. 自らの環境を整備しようとする生徒を育成する。 4. しっかり学習に励む生徒を育成する。 5. 相手の立場に立ち、相手の心がわかる人に成長させる。 	<p>〈努力目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. しっかり挨拶し、目で話を聴く姿勢を身につけさせる。 2. 集中して学習に取り組める環境を作らせる。 3. 生徒会、部活動、学年等のリーダーを育成し集団生活での規律、基本的なマナーを徹底させ、責任感をもたせる。 4. 環境の美化、自主的な清掃活動を促す。 5. 共に支え合い、励ましあうことができる友だちを作る。 	<p>〈努力目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集中力を高め、学年・学校行事に積極的に取り組めるクラスや学年の雰囲気を作る。 2. 社会的マナーを身につけ、挨拶をきちんとできるように努力する。 3. たくさんの友だちと話をし、お互いをわかり合える関係を作る。 4. 広い見識を持ち、社会的に認められる責任ある行動がとれるようにする。

特別活動	総合的な学習	国際理解教育	道徳の時間	家庭・地域との連携	生徒指導	学校学級環境
○学校や学級内の人間関係や環境を整える。 ○相互理解に関わる様々な課題を積極的に取り上げ、道徳的価値に基づいた生き方を考えさせる。	○現代的課題や自分の興味関心に基づくテーマなどに主体的に取り組み解決するなかで、自己の目標実現と他と協力する態度を育てる。	○自国の文化や伝統に対し理解を深め、誇りを持つとともに、異文化を積極的に理解し大切にすることを育てる。	○自己をみつめ自分の目標に向かって充実した生き方を考えさせる。 ○それぞれの立場や考え方を尊重しよりよい人間関係を築かせる。 ○自然を愛し命を尊び豊かな心を育てる。 ○法や規律を守り、社会や世界の一員としての自覚を持ち、活動できる資質を養う。	○家庭訪問や教育相談を通じて家庭の状況を把握し、警察、少年サポートセンター、補導員、少年愛護センター、子どもセンター等の関連機関との連携を図る。 ○保護者との信頼関係を築く。	○生徒の人権を尊重し、生徒理解に基づいた指導を心がける。 ○「いじめ防止等のための基本方針」に則り、生徒会とも連携して、いじめや差別、仲間はずれを許さない心と態度を持つ生徒の育成を図る。	○学級や学校の一員としての自覚を持ち教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。
給食の時間						
○生きとし生けるものをいただいているという認識のもと、命の大切さを学ばせる。 ○食事中のマナーを身に付けさせ、給食準備から片付けなど、学級内で協力することを大切にすることを育てる。						

《学級担任》
思いやりを持ち、正しい行動ができる生徒の育成に努め仲間を大切に作る学級づくりを目指す。

学級経営

英語	世界のつながりを意識し、異文化理解を深め国際平和に貢献する意欲を育てる。	国語	いろいろなものの見方や考え方があることを理解する。
		社会	社会の様々なできごとについて興味・関心を高め国際社会に生きる自覚を育てる。
		数学	数学的な思考をもとに、論拠立てて考える力を身につけさせる。
		理科	自然に対する興味や関心を高め、観察・実験を通して科学的にものごとを見る目を育てるとともに、命の大切さや自然を大切にすることを育てる。
		音楽	音楽活動を通じて、豊かな情操を養い、主体的に取り組む態度を養う。
		美術	造形創造の喜びを体験し豊かな感性を育てる。
		体育	競争や協同の経験活動を通し、公正に取り組む、互いに協力する力を養う。
		技家	基本的な知識や技能を得て望ましい生活ができる資質を養う。

